

平成 20 年 11 月

各 位

独立行政法人 経済産業研究所  
所長 藤田 昌久

## 「R&D 国際展開に関するアンケート調査」 ご協力のお願ひ（再送）

拝啓 貴社ますますご隆盛のこととお喜び申し上げます。

本状は、10 月初旬にご協力をお願い申し上げました本アンケート調査について、11 月 12 日時点でご回答をいただいていない対象企業様に再度調査のお願いをさせていただいております。入れ違えに御回答をいただいている場合は、ご容赦の上、本状を破棄していただければ幸いです。

（独）経済産業研究所では、ファカルティフェロー浅川和宏（慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授）をリーダーとする「日本企業の R & D 国際化における組織・戦略的課題：経営学的アプローチ」プロジェクトを立ち上げ、研究を進めております。

今世紀に入り、中国・インドをはじめとしたアジア新興国の R & D 拠点としての重要性が急速に増し、欧米企業を中心に R & D のアジア展開が加速しました。一方、日本企業はそうした環境変化に対し、これまで一貫した行動を見せていないのが現状です。こうした最近の R & D 国際展開の変容ぶりは、先進地域、新興地域を包括したグローバル規模での R & D 体制の地殻変動が起きているとも言えます。

これまでの「通説」を再検討し、今日の状況に合った分析の枠組みが必要であるとの考えから、日本企業の「R & D 本部」及び「海外 R & D 拠点」に対し実施するアンケート調査から得られる最新データを基に、R & D 国際化における新たな動向を把握し、特に組織・戦略的な側面における現状と課題についての分析を行います。本調査では、この現状と課題についての理解を含め、マネジメント上の有効な対応策を検討することを目的としています。

ご協力いただきました皆様には、集計結果がまとまり次第『調査結果概要』、並びに『ご希望の報告書』①Metanational learning in TFT-LCD industry (英語版)もしくは、②メタナショナル経営論からみた日本企業の課題：グローバル R & D マネジメントを中心に(日本語版)、を電子メールにてお送りさせていただきます。あわせて、経済産業研究所ホームページ<<http://www.rieti.go.jp/>>において本調査専用ページを作成し、随時ご報告させていただきます。

ご多忙中誠に恐れ入りますが、本調査の趣旨と意義をご理解の上是非ともご協力賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

## ～アンケート調査のご案内～

1. ご回答いただいた結果につきましては、完全に機密を厳守し、研究目的のみに利用させていただきます。調査結果の公表に際しては、統計的に処理した集計値等を対象とします。個別データ・内容は、絶対に公表されることはありません。
2. 下記3通りの方法いずれかで、平成20年12月26日(水)までにご回答ください。
  - ①調査票に直接ご記入の上、同封の返信用封筒（切手不要）
  - ②Fax（03-6667-3475）
  - ③調査ウェブサイト

下記いずれかの URL にアクセスし、当該調査実施ウェブサイトに入り、調査票表紙の右上のシールに印字された5ケタの数字を入力してご回答ください。

（独）経済産業研究所（RIETI） <http://www.rieti.go.jp/>

（株）日本リサーチセンター <http://www.nrc.co.jp/>

本調査は、独立行政法人経済産業研究所が、株式会社日本リサーチセンターに委託して実施するものです。

**【お問い合わせ先】**

株式会社 日本リサーチセンター 調査部  
R & D国際展開に関するアンケート係  
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 2-7-1  
**Tel : 03-6667-3192**  
**Fax : 03-6667-3475**  
担当：萩原、伊藤

**【調査主体】**

**独立行政法人 経済産業研究所（RIETI）**

〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 経済産業省別館 11 階

U R L : <http://www.rieti.go.jp/>

Email : [info-survey@rieti.go.jp](mailto:info-survey@rieti.go.jp)

担当：研究業務担当 長瀬、矢島

（国内）